

	<p>第 84 号 発行日 平成 29 年 11 月 18 日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 小寺 淑子 事務局 小野 和子 (E-mail:wako51062@yahoo.co.jp) (HP http://hizasi.web.fc2.com)</p>
--	---

平成 29 年度 学習会 研修部長報告

手書き研修部

「現場で役に立つ研修をしよう」をテーマに

- ①機材の取り扱い ②個人のレベルアップ(美しい字・漢字) ③要約の練習

3 点を中心に取り組みました。

5 月(担当 久保田) 参加者 5 名

- ・機材の組み立てと台形補正の方法
- ・筆記の練習(字を揃えて書く)
- ・語彙を増やす

6 月(担当 久保田) 参加者 5 名

- ・要約筆記ゼミナルを使って要約の練習

7 月(担当 池邊) 参加者 12 名

＊パソコン・手書き合同研修

- ・要約筆記ゼミナルを使って、要約・入力の練習

8 月(担当 池邊) 参加者 4 名

- ・MO-1 OHC 機材を組み立てる
- ・講演会形式で要約の練習

9 月 台風のため中止

10 月からの研修では、引き続き個人のレベルアップと統一試験へ向けた要約の練習をしていく予定です。

多くの方のご参加をお待ちしています。(久保田 安紀)



「パソコン」 「パソコン」 「パソコン」 「パソコン」
互いの立場を思いやって

PC 研修部

今年度の学習会のスタートは、機材・ロッカーの整理からでした。機材などに色分けのシールを貼り、皆がわかりやすく素早い収納ができるようにしました。使用後は備え付けの袋に収納するようお願いしました。

次の学習会は「前ロールの作成」でした。ルールなどを学習後、新人さんを中心に作成していただき、検証、「利用者さんが見やすい前ロール」について学びました。

手書き・パソコン合同での学習会では、そぎ落としについて学びました。また、UD 手書きプロを使って、スマホ・iPad を利用した情報保障についても学びました。日々 IP トークなどで、こんなことができるあんな楽しいことができるなど、次々とバージョンアップされています。

今後研修部では、情報を共有する学習会を開催予定です。積極的な参加をお願いします。(三重野 真由美)

シナプソロジー de 交流会

7月15日（土）センター会議室に於いて、今年度第1回目の交流会を開催しました。参加者は陽ざしの会 12名、難聴者協会 2名、夢サラダ 5名の合計 19名で、当会会員の梅崎照美さんを講師に「シナプソロジー」体験の後、ゲームを取り入れた茶話会という内容でした。

聴き慣れない「シナプソロジー」という言葉でしたが、手先を使った脳活をワイワイ楽しみながら体験し「脳が活性化した気がする」「家でもやってみたい」など大好評でした。茶話会でのお菓子交換ゲームも非常に盛り上がり、笑い声の絶えない交流会となりました。情報保障はパソコン全体投影と手書きノートテイクで行い、いくつか改善すべき点がありましたので今後活かしていきたいと思えます。

短い時間でしたが、聴覚障害の方と楽しみながら交流を深めていく大切さを改めて感じました。最後に、準備や情報保障などにご協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

（企画部部長 青木奈津子）



シナプソロジー講師の梅崎さん



真剣に脳トレ中



難聴者が安心できる居場所

夢サラダ 金光裕美子

陽ざしの会の交流会に、夢サラダのメンバーも誘っていただきました。色々なゲーム等を考えてくださっていて、みんなでやるのですが、一般の交流会と違うところは、OHPに話した内容を打って下さること、近くにいる人が紙に書いてくださること。だから聞きとれなくても『見ればわかる』という本当に夢のようなシチュエーションなのです。本当にありがたいです。

知らない健聴者が集まる場所に行くと、聞きとれない箇所が一つ二つ出てくると、どんどん話が進んでしまっていて、おいてけぼりになってしまいます。これまでに『ひとりぼっち』という言葉がぴったりの状況を幾度となく経験してきました。

だから要約筆記者が、そばにいてくださる空間は、ただ単に書いて教えてくれるということだけではなくて、聞きとれなくて寂しい思いをしないように寄りそってくれる、とてもありがたい空間なのです。

交流会では、ゲームの他にもいろいろ工夫を凝らして、ハンカチを使った脳の体操や、プレゼント交換、そしておいしいお弁当も出てきたりと盛りだくさんで、とても安心して楽しい時間をすごすことができました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

陽ざしの会の交流会に参加して

大分県難聴者協会 麻生敦子

先日、「原稿を」と言われて、今年度2回ほど参加させていただいたけれど、もう何ヶ月もたったので、最近記憶力が減退してきていて、書いても間違っていたり、的はずれだったりしては申し訳ないかと躊躇してしまいました。でも陽ざしの会の方々にはいつもお世話になってばかりなので、お断りするわけにもいきません。失礼なことになるかもしれませんが、書かせていただきます。

1回目は、絵を見て当てる連想ゲームのようなことをした気がします。2回目は、脳を活性化させるという指あそびやお菓子の交換をしたり、どちらも日頃やらない楽しい時間が過ごされました。

参加する前は気が重い、行くのをやめようかという思いもありました。参加してみると、お会いしたことのない若い方も多かったけれど、皆、優しく気を使って下さって、居心地のよい会でした。

他の会では、発言していることがわかりにくく、「なんの話だろう。自分はどうすればいいんだろう」と不安になったり孤独な思いで淋しくなったりするけれど、陽ざしの会主催のものは、難聴者にとって、本当にありがたい、心の暖くなるものです。何を言っているのか、全て書いてくださるので、流れがわかり、自分が主体的に行動できることは、とても楽しく、ほっとする気がします。

ありがとうございました。

今度は、難聴者協会の茶話会にもたくさんの方に来ていただけるとうれしいですが、難聴者といるといつも筆記通訳をしなければならなくて、陽ざしの会の方に負担をおかけするのではないかと思われて、「おいで下さい」というのも気が引けます。それでも、陽ざしの会の方を皆覚えてしまえるほどに、交流が増えると、より楽しくおつき合いができるのにと願うしだいです。これからもよろしく願いいたします。



第2回目の交流会は・・・

11月18日は、「うみたまご」にて
第2回目の交流会です。

現地集合、現地解散、参加自由♪

どんな様子だったか、詳細は
次号の広報誌をお楽しみに～～



第1回要約筆記者

登録研修会報告

7
月
16
日

7月16日(日)に今年度第1回の研修会が開催されました。

午前中は磯田ひろみ・廣瀬美智子両講師の対人援助の講義と事例検討でした。

対人援助の講義では、要約筆記者が対人援助の専門職として知識・技術だけでなく価値・倫理が求められることを学びました。要約筆記者の価値観や倫理観は『要約筆記者の倫理綱領』の作成を契機にクローズアップされています。援助者としての要約筆記者は価値観・倫理観(心)、知識(頭)、技術(手)のバランスの取れた精神状態で支援に臨んでこそ正しい対応ができるとのことでした。

事例検討では「医療現場事例」1・2が小人数グループによる討議と発表の形で行われました。グループでの討議は多様な観点や先輩の経験が聞け、他のグループの発表も興味深く充実した時間を持つことができました。午後は松崎由加コーディネーターによる派遣実務の説明と事例検討が実施されました。

派遣実務では報告書の移動距離を片道で記入する点が大きな変更です。

(河井美恵)



医療現場をイメージすることで
いろんな気づきか!!



報告書は正しくね



全要研「手話を学ぼう」に行ってきました！

～全要研主催の手話教室～

9月3日(日)、大分県聴覚障害者センターにおいて、全要研主催の手話教室「手話を学ぼう」が開催され、陽ざしの会会員も9名が参加しました。

奈須センター長と職員の岩田さんを講師に迎え、10時～12時の2時間にわたり、手話を学びました。



手話



ありがとう



ご苦労さま

テキストをもとに「山、川、家、雨、晴れ」などの簡単な単語を習い、後から短い文を手話で表現して、最後に講師の手話の質問に手話で答えるまでになりました。

また、手話単語の構成についても学びました。

- ★身振りで表現できる「私、約束、静か」
- ★日常のしぐさで表現できる「歩く、書く、さよなら」
- ★物の形を真似た「山、家、川」
- ★漢字やアルファベットを模倣した「中、司会、WC」
- ★言葉の意味を掘んで作られた「驚く、うらやましい」など。手話の作られ方を知っていれば、知らない言葉も



や状況に合う表情を出さずに手話だけを表現しても意味が伝わらないのです。

表情で違う意味にも

平常心、怒っている、驚いている、嫌がっている、嬉しいなど、特に感情は気持ちを顔に出して表すことで意味が変わってくるので、とても重要だということも十分、分かりました。例えば「雨が降る」の時に嬉しそうに表現するのか、降っては困る雨なのか、雨が降るのは同じでも表情によっては全く違う意味になってしまうんですね。

短い時間でしたがとても楽しく学習できました。また、このような機会があると嬉しいです。
(久松久仁子)



とりあえず表現してみる。そうすると伝えたいという気持ちは伝わるのかなと思いました。

状況に合わせた表現を

言葉の意味の強さの度合いは、顔の表情や体の状態や向きで決まります。

例えば「あの家は大きいですね」の「大きい」は手話単語にもありますが、「家」の表現を大きく表わせば、それで「大きい家」の意味になります。そこに伴って驚いたような顔の表情が付くと「お屋敷のように大きい家」になります。普通の表情だと「大きい」と言いつつ、大きさは伝わらないことになります。感情





要約筆記の勉強部屋 Part15

～筆子の覚書～



すっかり秋めいてきたこの頃、皆さまお変わりありませんか？朝晩の冷え込みと昼間の温度差にやられて、風邪気味の筆子です。

さて、2017年度 全国統一要約筆記者認定試験のお知らせの時期になりました。試験日は2018年2月18日（日）13:00～15:30の予定です。

それと、今年度から試験の主催団体が、「全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、全国要約筆記問題研究会」から「要約筆記者認定協会」に変わりました。

この要約筆記者認定協会とは、中途失聴・難聴者の福祉向上とコミュニケーションの支援の充実を目的として、全国統一要約筆記者認定試験の実施とその関連事業を実施するために設立された団体とのことです。ホームページに2016年度の試験問題と、解答が掲載されていますので、是非ご覧ください。（アドレスはコチラ→ <http://yh-nintei.jp/>）

初めて、筆記試験問題の解答、対応部分の解答例、実技問題の音源文字起こし、解答例、資料を使う際のレジュメまで掲載されています！なんと親切な！（笑）

2015年までの試験問題は・・・と期待しつつ確認してみましたが、そこは今まで通り、全国要約筆記問題研究会のサイトに掲載されたままでした。残念！（苦笑）



実技の解答を見ってみました。文字起こし文と解答例を見比べると、「あ～、そうまとめるといいのかな～」と納得。手書きにしても、パソコンにしても、試験で合格するためには、「この書き方でいいのかな、この表出方法でいいのかな」と不安だったのですが、解答例を見て、安心しました。「こういう書き方でいいのね。」と。特にパソコンの表出方法は、実際の派遣と違うので、試験にあった表出に慣れないといけませんね。

試験に向けて、お知らせがあります。

今年も事前学習会が開催されます！協会主催の事前学習会は、12月10日10:00～15:00までの開催予定です。試験を受ける方も予定のない方も、技術の向上のために、是非ご参加下さい。自主学習会も計画中です。なお、認定試験は大分県聴覚障害者協会を通しての申し込みです。認定協会への申込期限は12月25日（月）なので、それ以前の締め切りとなります。協会からのお知らせをお待ちください。





イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン



このキャンペーンは、イオンが、地域のコミュニティの一員として「サポートを必要としているボランティア団体と、『応援したい』という気持ちを持つお客様とを結ぶ」という取り組みで、毎月11日に実施されています。

「陽ざしの会」は、イオン高城店に登録していますが、具体的には

- ★毎月11日、イオン高城店で買い物をすると、レジ精算時に黄色いレシートが発行される。
- ★受け取った黄色いレシートを店内設置の投函BOXに投函する。
(応援したい団体名「陽ざしの会」と書かれたBOXに投函する。)

★投函されたレシート合計金額の1%分の物品が、イオンから「陽ざしの会」に寄贈される。というもので、当日は、1時間ほど会員が店舗に赴き、お客様に呼びかけを行っています。

私は、「陽ざしの会」の会計がとても厳しい実情にあると担当者から聞き、少しでも足しになればという思いで、このキャンペーンへの参加を希望しました。

最初は、知らない人への呼びかけに不安がありましたが、ある時、花束を3つ抱えた初老の男性が、「妻の仏壇に供えるんや」と照れくさそうに。「お花の好きな方だったんですね、奥さん喜ばれますね」「うん、来月も11日に来るけん頑張ってる」とニコニコ顔。また、「こんなに少額でごめんなさいね」と何度も言いながら申し訳なさそうにレシートを手渡してくれたおばあちゃん。「いえいえ、本当にありがとうございます」と、このようなちょっとした会話やふれ合いが次第に楽しくなってきました。

また、4月から8月までの間に陽ざしの会に投函されたレシートの合計金額が、400万円を超えていると聞き、これからも頑張ろうという思いを強くしました。皆様方、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

(森崎 百合子)



ぶんご梅

絵手紙

南波 史恵

最近、絵手紙を始めました。といっても、月に一度教室に通い、数枚の絵を描くだけなのですが。

始めるまでは、「絵心なんてないのに、絵手紙なんて書けるのかな？」と不安でしたが、描いてみると案外楽しく、毎月待ち遠しいほどです。

作品を友人に送ると、とても喜んでもらえて「もっと送って！楽しみにしてるよ！」と催促してもらえることも励みになっています。

絵手紙を始めてから、これまで関心なかった草花や旬の食べ物にも興味を持てるようになり、次のモチーフは何かな？と花や野菜に目が行くようにもなりました。

「これは描きやすそう」「これは難しい」「これは描いてみたいな」と脳内で絵手紙に変換してみます。

実際に描いてみると、説明されないとかからないような絵になってしまったり、滲んでぐちゃぐちゃになったりと、上手く描けないことのほうが多いのですが、

「ヘタでいいヘタがいい」という言葉に励まされ、毎月楽しく描いています。



※ぶんご梅は創刊以来続けている会員のエッセーです。

お知らせ

◆ 磁気誘導ループ[®]の名称が変更されました

8月21日、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会より、慣れ親しんできた「磁気ループ」の名称が「ヒアリングループ」へ変更されたとお知らせがきました。

「磁気」という言葉がペースメーカーや医療機器に影響を及ぼすと誤解されがちなことや、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてアピールするための改称だそうです。

これに伴い、「T付き耳マーク」も「ヒアリングループマーク」に変更されています。

旧名称	新名称
磁気誘導ループ ⇒	ヒアリングループ [®]
T付き耳マーク ⇒	ヒアリングループマーク

【お問い合わせ先】

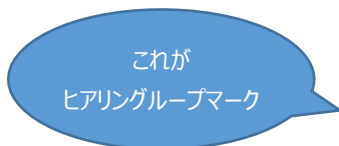
一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 事務局
〒162-0066

東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台 1F

電話 03-3225-5600

FAX 03-3354-0046

Eメール zennancho@zennancho.or.jp



◆ 今年もやります！ 出前授業！

平成29年12月15日(金) 於 大分県立由布高等学校

昨年に引き続き、今年も出前授業をさせていただけることになりました。生徒と保護者を対象に、要約筆記についての講演会を開催します。講師は池邊恵子さん。みなさん、ぜひご参加ください。



◆ 今後のイベントスケジュール

平成29年12月10日(日)…………… 認定試験事前学習会

平成29年12月24日(日)…………… 第2回登録研修会

平成30年2月18日(日)…………… 要約筆記認定試験

12月16日～2月17日まで
週に1回自主学習会があるよ！
みんなで合格を目指そう！

編集後記

各地で起こる災害に胸が痛みます。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、最近気づいたことがあります。聴覚障害者センターに行くとき、車いす用駐車スペースが必ず空いているのです。駐車場に隙間なく車が詰まっているときでも、1台分空いたそのスペースを見ると、温かい気持ちになります。車椅子ユーザーの私は、皆様の優しさを感じながら、停めさせてもらっているのです。

おかげさまで、84号も無事に発行を迎えることができました。今回寄稿していただいた、難聴者協会麻生様、夢サラダ金光様。その他ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

(南波 史恵)